

入院のみ 外来のみ ○共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	乳がん	ハラヴェン	○日常診療	術前化学療法	21日
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済	○進行・再発	予定総コース
		その他()		可能な限り	

☆上記のうち該当箇所○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1,8など)	投与経路
1	生理食塩液	200mL	20分	day1,8	点滴(主)
2	Dex 生理食塩液	2A 100mL	15分	day1,8	点滴(側)
3	ハラヴェン 生理食塩液	1.4mg/m ² 50mL	5分	day1,8	点滴(側)

留意点および急性期有害事象等	<p><投与基準> 投与開始基準 下記の基準を満たさない場合、投与を延期する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好中球数:1,000/mm³以上 ・血小板数:75,000/mm³以上 ・非血液毒性:Grade2)以下 <p><有害事象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・好中球減少(Grade≥3):45%、白血球減少(Grade≥3):14%、末梢神経障害(Grade≥3):8%、 <p><減量基準> 【ハラヴェン】 前サイクルにおいて以下の副作用等が発現した場合、減量した上で投与する。(-1段階:1.1mg/m²、-2段階:0.7mg/m²)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7日間を超えて継続する好中球数減少(500/mm³未満) ・発熱又は感染を伴う好中球数減少(1,000/mm³未満) ・血小板数減少(25,000/mm³未満) ・輸血を要する血小板数減少(50,000/mm³未満) ・Grade3以上の非血液毒性 ・副作用等により、2週目に休薬した場合 <p><その他注意> 【ハラヴェン】 本剤を5%ブドウ糖注射液で希釈した場合、反応生成物が検出されるため、希釈する場合は日本薬局方生理食塩液を使用すること。 また、0.01mg/mL未満の濃度に希釈しないこと</p>
----------------	---

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・Cortes J et al.Eribulin monotherapy versus treatment of physician's choice in patients with metastatic breast cancer (EMBRACE): a phase 3 open-label randomised study.Lancet. 2011 Mar 12;377(9769):914-23.
------	--

夜間, 帰宅時, 対応医師への連絡先	平日の日中は外科外来(3057,3058)
--------------------	-----------------------